

常任委員・監事合同会議報告



同窓会会報
第62号

平成9年10月1日
発行所 茨城県東茨城郡
茨城町鯉淵5965
鯉淵学園同窓会
☎319-03 TEL029-259-2811
振替口座 宇都宮3-1632番
印刷所 印刷
(有) 双葉印 刷

第二十三回同窓会大会案内

十一月三日(月)開催

会員多数の出席を期待

平成九年九月六日(土)、同窓会館に於いて別記委員出席の下に開催の常任委員並びに監事合同会議は、事務局から提出の平成八・九年度事業報告及び同決算見込みを中心に審議、第二十三回大会提案事項並びに大会日程等を決定して散会した。

特に、平成十・十一年度役員選任に当たっては、十期から三十期卒業会員を中心に若手起用を第一とした同窓会活動活性化推進方針が發議され、全員一致の合意が図られた。

また、オブザーバーとして出席された六戸弘明学園長並びに農業経営学科学科長中島紀一教授からは、学園経営の現状と課題、卒業生の進路就職状況に関する講演の中で、それぞれ本会の重要性を強調、積極支援を強く期待された。

具体的に、学園の悩みを挙げれば、都道府県又は地域情報の不足が、卒業生の就職指導に重大な影響を与え兼ねなく、この方面の充実を急務とするところから組織的積極関与が要請される所以である。今後は、この問題解決に向かって本会の英知を結集する必要があるものと考えらる。

第二十三回大会は、次の日程により運営されますのでお知らせしますとともに、会員多数の参加を願っております。同期、近隣の仲間を誘い合ってお出かけください。

なお、当日は学園祭の最中でもあります。後輩の日頃の努力と成果がキャンパス一杯に展開されます。新旧交流の盛り上がりで第二十三回大会と平成九年学園祭を成功させましょう。

【第二十三回大会日程】

開催日 平成九年十一月三日(月)
会場 鯉淵学園 第五番教室
受付 十三時～
大会 十三時三十分～
常任委員会 十六時三十分～
懇親会 十七時～

【議題】

- 一 報告事項
 - (1) 平成八・九年度事業報告
 - (2) 平成八・九年度決算報告
 - (3) 平成八・九年度監査報告
 - (4) その他
 - 二 協議事項
 - (1) 平成八・九年度事業並びに決算報告承認について
 - (2) 平成十・十一年度事業計画並びに予算について
 - (3) その他
 - 三 平成十・十一年度役員選出
 - 四 新旧役員挨拶
- なお、大会は、会則により役員並びに各都道府県支部選出の代議員によって構成されることになっていますが、組織未整備のため、従来通り代議員を含めた出席者全員を構成員とすることで、大会をご承認頂きたいと思っております。

大会運営のお願い

大会に出席される会員は、必ず、「はがき」に、住所、氏名及び卒期を明記し

て、十月二十四日(金)事務局必着で一報ください。

また、同窓会館宿泊を希望する方は、その事も記載してください。

【別記】

常任委員・監事合同会議出席者名簿

- (役職・氏名、所属、卒期の順)
- 会長 福丸 博 房崎 玉⑨
 - 副会長兼常任委員長 吉川 昭 雄 茨城⑪
 - 副会長 高橋 隆 三 茨城⑨
 - 常任委員 岩持 文彦 茨城⑦
(事務局長・茨城県支部長)
 - 〃 稲川 正雄 茨城⑬
 - 〃 九石 裕 栃木⑫
(大竹勝次委員代理)
 - 〃 関口 義明 群馬⑦
 - 〃 清水 源也 埼玉⑦
 - 〃 白土 忠男 東京⑨
(東京都支部長)
 - 〃 住吉 達男 東京⑩
 - 〃 北村 康祐 神奈川②
(神奈川県支部長)
 - 〃 西村 典夫 学園④
 - 監事 砂田 義雄 学園⑤
 - 〃 本宮 好美 茨城⑫
 - 協会理事 満 永正 昭千 葉④
 - 学園長 六戸 弘明
 - 農業経営学科学科長 一
 - 教授 中島 紀一
(以上十七名)

名簿講読・

同窓交流の奨め

会員名簿【第12版】 七月刊行
 作成部数 二、五〇〇冊
 頒布価格送料込み 三、五〇〇円
 予定通りに刊行の名簿【第12版】は、直ちに購入予約代金納入者一五四〇名の会員に発送されて、新たな交流の基盤として活用されました。
 本部にも、いろいろと注文が届き、その整理に追われております。
 内容は、本人の登録事項変更は言うに

四国四県合同同窓会開催について

鯉淵学園四国四県合同同窓会が去る平成九年八月二十三日(土)に香川県高松市のHOTELニューフロンティアで開催された。
 主催県が香川県で他の三県に呼びかけ事務局として香川県の山花 健(二十六期)、川崎 武(十九期)、藤沢 巖(二十四期)ですべてとりまとめを行い盛大に開催することができた。
 その経過を簡単に説明すると、またまた今年の春、京都において十期生の同窓会の際、愛媛県の岡 一郎支部長と香川県の宮崎岩美支部長が四県合同の同窓会をもってどうかともちかけたところ、愛媛県はすでに八月二十三日に決めているといふことで急ぎよ八月二十三日に定め、期間はなかったが事務局世話人として山花 健(二十六期)により今回ののはこびとなった。
 当日、HOTELニューフロンティア

及ばず、仲間の動向、訂正或いは脱漏等数々の情報有り難うございました。
 各位からの情報を下に名簿【第12版】の補完を急いで完成品の誕生を目指します。
 名簿は、平成十年から十四年に入学する生用として六〇〇冊を確保しますの、残り三六〇冊となります。購入希望の方は急いで申込みください。
 特に、所在確認調査カード提出に際して予約申込みの方は、お手元に届いている代金払込票(振替用紙)を用いて送金してください。入金確認次第、直ちに、発送いたします。

名簿脱漏のお詫びと追加のお願い

特別会員 旧教職員名簿欄
 前学園長 松本正雄先生のお名前を、名簿から漏らしてしまい誠に申し訳ございません。ここに追加記入をお願いしてお詫び申し上げます。
 ※一六八頁 学園長 吉川直行の次に加える。
 学園長 松本 正雄
 〒二四二一
 神奈川県大和市中央林間四丁目
 二一〇一七〇二
 電話 〇四六二一七三二七九三

で十時より受付開始、席順は受付順に席番をのししたマッチを渡し席を決めた。十一時より山花氏の司会で開会となった。まず、物故者に対し黙禱を捧げ、次いで発起人挨拶として主催県 宮崎氏(十期)、愛媛県 岡氏(十期)、高知県 下村氏(十七期)、徳島県 上田氏(四期)の順で挨拶をのべた。
 来賓挨拶は、同窓会本部より出席の同窓会会長 福丸博房氏(九期)より挨拶と共に学園の近況報告があった。先生方にも御案内を差し上げたが、松川先生は御高齢のため帰郷出席を断念された。故田 淵先生のお元気がお元気がいっばいで出席戴きましたので一言ご挨拶を頂きました。
 また、決定事項として次回開催は、愛媛県主催で二年後に愛媛県道後温泉にて夫妻同伴にて泊まり込み夜の開催と満場一致で決まりました。
 つづいて、宴会の準備の間を利用して、

別室にて記念撮影すませ、香川県 和田氏(四期)の乾杯の音頭で懇親会が始まった。
 宴席では先輩たち、高等農事講習所時代の話から、それぞれの時代を越えた大勢の人達と話す機会ができ同級生とは違った味わいのある楽しい一日であったが、とても短い一日と感した。四十数年会うこともなかった先輩、後輩と刻を高速度カメラで短く縮めてなつかしい顔を思い浮かべることができた。

席順がバラバラであったせいから、それで又話に花を咲かせる事ができカラオケどころではなかった、実のある

四国国会同窓会がもてた。最後には皆でスクラムを組んで手に手を取って寮歌を合唱して閉会をした。
 そして、次回開催県の愛媛県にバトンタッチして二年後は八月初めにすることに定めた。
 なお、欠席者の近況等について出欠はがきを書いてもらった。それぞれの都合で、早期の稲刈りとか、役職上会議の為出席できなかった人、家族や本人の健康上の都合でやむを得ない人達と色々あり残念だったが次回を楽しみにお互いに皆さん健康を一番に考えて一日一日を大切に頑張ってくださいと思います。
 最後に次回の当番県である愛媛県の皆さんよろしく願います。



宮崎(十期) 記
 ① 福丸 博房 会長
 ② 川崎 武
 ③ 山花 健
 ④ 藤沢 巖
 ⑤ 岡 一郎
 ⑥ 高林 和加
 ⑦ 君道 久
 ⑧ 夫道 久
 ⑨ 堀川 章
 ⑩ 川崎 武
 ⑪ 堀川 章
 ⑫ 堀川 章
 ⑬ 堀川 章
 ⑭ 堀川 章
 ⑮ 堀川 章
 ⑯ 堀川 章
 ⑰ 堀川 章
 ⑱ 堀川 章
 ⑲ 堀川 章
 ⑳ 堀川 章
 ㉑ 堀川 章
 ㉒ 堀川 章
 ㉓ 堀川 章
 ㉔ 堀川 章
 ㉕ 堀川 章
 ㉖ 堀川 章
 ㉗ 堀川 章
 ㉘ 堀川 章
 ㉙ 堀川 章
 ㉚ 堀川 章
 ㉛ 堀川 章
 ㉜ 堀川 章
 ㉝ 堀川 章
 ㉞ 堀川 章
 ㉟ 堀川 章
 ㊱ 堀川 章
 ㊲ 堀川 章
 ㊳ 堀川 章
 ㊴ 堀川 章
 ㊵ 堀川 章
 ㊶ 堀川 章
 ㊷ 堀川 章
 ㊸ 堀川 章
 ㊹ 堀川 章
 ㊺ 堀川 章
 ㊻ 堀川 章
 ㊼ 堀川 章
 ㊽ 堀川 章
 ㊾ 堀川 章
 ㊿ 堀川 章

鯉淵学園農村研究会友の会

新潟県での集い

一四十年ぶりの再会者も一

平成九年五月三十一日、六月一日、一泊二日の日程で新潟県岩室温泉、ホテル富士屋に於て二元農村研究会一員生等の集いが、十三期、田辺扶裕子さん、十四期 西潟範子(旧姓、渡辺)さんから幹事のはからいで開催されました。三十一日は上越新幹線、燕三条駅に集合、そしてキク祭等の開催地としては全国でも有数と知られる弥彦神社を参拝してから宿の計画でした。都合で直接宿でもたれる十

四期、北海道 桑野茂氏、十四期 島根 岡本孝夫氏らとは四十年ぶりの再会なので、共に再会を確認しあうひととき昔を語りあった。
夜は十四期 北海道出身浅田昌男会長の挨拶で酒宴が始まった。一人一人が自己紹介や学園の思いで等を語り合い現況報告が夜の更けるも忘れ、おそくまで楽しいひとときを過しました。四十年ぶりの再会との事もあり定年退職を迎えられ



時 H9.5.31~6.1
所 新潟県岩室温泉 ホテル富士屋

【後列左から】

- ⑮深澤慶吉(秋田) ⑭福良充雄(徳島) ⑮中島主人
- ⑮中島則子(兵庫) ⑬田辺扶裕子(新潟) ⑭遠藤夫人
- ⑭遠藤弘司(宮城) ⑮小島 宏(秋田) ⑭武藤恒美(秋田)
- ⑮小島夫人 ⑮深澤夫人 ⑭倉繁 勇(新潟)
- ⑭板垣常雄(茨城) ⑮岡本夫人 ⑮岩淵夫人

【前列左から】

- ⑯鈴木シズノ(群馬) ⑮岩淵 齊(岩手) ⑯伊藤典子(新潟)
- ⑳角山優子(新潟) ⑭加藤謙次(岩手) ⑭益子駿一(茨城)
- ⑭桑野 茂(北海道) ⑭大竹勝次(栃木) ⑭岡本孝夫(島根)
- ⑭浅田昌男(茨城) ⑭西潟範子(新潟)

そしてまた農村社会を職場として働く人が多く思われた。
十四期、宮城 遠藤弘司氏のおくさんと十四期 岩手 加藤謙次氏の共演による踊は皆さんを楽しませてくれた。また十五期、秋田 深澤慶吉氏は酒宴もそこに皆さんのスナップ写真を沢山とつて下さった。学園同窓会会報の記事用の写真も深澤氏から頂いたものです。六月

一日は良寛の里「五合庵」等を見学したり、山頂から新潟県の米どころ蒲原平野をながめながら散会いたしました。
来年は栃木県で再会する事を確認したい、幹事は十四期 大竹勝次氏にお願い致しました。同窓生諸代の中で参加希望される方はどなたでも気がるに参加されることを記して終わります。
十四期 新潟 倉 繁男

夏期不知火会(熊本県支部)開催

事務局 吉丸 民雄(二十四期)

平成九年八月二、三日、北に九重連山、南に阿蘇五岳を望み、手つかずの自然が残る、産山村に於いて、観光コースとゴルフコースに分かれ夏期不知火会を開催した。

懇談会は、民宿「大平の上」、井晴生(二十六期)、井芳美(二十七期)経営で、四季折々の幸をふんだんにあしらった心づくしの料理をご馳走になりながら会員と家族との親交を深め夜遅くまで話はずんだ。



出席者(35名)

- 吉本富男② 夫人、子供夫婦、孫 村田芳郎③ 夫人 高木重成⑩
- 森川紀一⑯ 東 善明⑯ 夫人 原田健二⑯ 中村眞輔⑯ 夫人
- 田上輝昭⑳ 夫人 倉志文夫㉒ ゴルフのみ出席 吉丸民雄㉒
- 上島良一㉒ 井 晴生㉒ 井 芳美㉒ 岩下尚美㉒ 高橋直子㉒
- 松本 功㉒ ゴルフのみ出席 宮崎大平㉒ 田端義雄㉒

同窓会・監事・武内十郎さんご逝去

武内さんが亡くなられた。わが心に開いた大きな空洞が、今もって縮まらない。岩持事務局長から頼まれた計報の一筆、こんなに重く感じたことはない。

武内さんは、昭和三年、静岡県に生れ、鯉淵には敗戦の翌年、昭和二十一年四月に入学された。ともに杉皮ぶぎのバラック(学生寮)で、三年間、文字どおり寝食を共にした友である。氏は、人に接するに温、自らの研鑽には極めて厳しかった。良く本を読み、学生自治会の役員として、進んで難事を背負い、社会思想研究会員、弁論部員等々、積極的に活動された。温厚だが、一旦論陣を構えると一歩も引かぬ駿才であった。

昭和二十四年、卒業と同時に東京都港区役所に勤務。昭和四十年代は監査事務局長、税務課長、管理課長、総務課長を

歴任、昭和五十一年には厚生部長、続いて議事事務局局長、昭和六十一年には収入役、そして平成二年には監査委員と次々要職に就任された。が任中途の平成六年十一月、突然くも膜下出血、即刻、帝京大病院に入院、手術。それから二年余、奥様はじめご家族の皆様のご看護も虚しく、去る五月三十日、黄泉の客となられた。

武内さんは、公務多忙の中、実によく鯉淵学園の心配を下された。同窓会の監事は、手記の記録でも、昭和三十年代から、連続してお引受け下さった。武内さん、ほんとうに有難う。何れ追いついた時に又。

(喪主・奥様、武内マリ子様、
東京都新宿区下落合
二二二二二四七)

元・畜産学教授、藤田千春先生、ご逝去

平成九年五月三十日、藤田千春先生は、満八十四年のご生涯を閉じられた。先生は、大正二年、茨城県新治郡玉里村でお生まれになり、昭和九年三月、東京帝国大学農学部獣医学実科を卒業、長野県、愛媛県、農林省等にご勤務なられた後、昭和二十一年に、茨城県畜産試験場、昭和三十六年には場長に就任された。鯉淵学園の教育にお力添えを頂いたのは、昭和四十二年からで、場長ご在職

のまま、家畜衛生学の非常勤講師としてであった。昭和四十五年六月、試験場長ご退職の後には、畜産学の主任教授として、昭和五十四年三月まで、定年ご退職の後、嘱託教授として、昭和五十九年三月までご指導を頂いた。ご在職中、畜産コースの主任をお願いしたり、またしばらくは学園の第一舎宅にお住いになられ、後年、友部町に居を移されてからも、お近いのを良いことに、

公私ともにご指導を頂いた。学内親睦会の折など、長野時代に仕込まれたという、本家、木曾節を朗々と披露されるのが常であった。先生の学殖とご温顔は、何時何時までも、薫陶を受けた私達の脳裏に刻まれて消えることはない。ここに謹んでご冥福をお祈り申上げらる。

(喪主、ご長男、藤田嘉昭氏、
茨城県西茨城郡友部町大字
鯉淵六五二〇一四二)

平成八・九年度会費納入者名簿【報告】

平成九年六月一日から九月六日までの払込通知受理分。確認と領収証書代わりの報告です。間違い、ご不審の点はご連絡ください。また、領収証書が必要な場合はご請求願います。○数字は卒期、括弧数字は通信過程卒期です。

◎年度会費 一三名

- (北海道) ① 秋保 正司
- (茨城県) ② 入江 龍一
- ③ 入江 三弥子
- ④ 小沼 和重
- ⑤ 佐久間 もと子
- ⑥ 飯田 哲郎
- ⑦ 宮城 海代子
- ⑧ 鈴木 清子
- ⑨ 川村 哲広
- ⑩ 白浜 唯司
- (群馬県) ⑪ 関口 義明
- (千葉県) ⑫ 松家 昇
- (新潟県) ⑬ 土屋 誠
- (京都府) ⑭ 細見 むつ子
- ⑮ 小川 明美
- (兵庫県) ⑯ 近本 昌博
- (高根県) ⑰ 石田 義文
- (広島県) ⑱ 梶谷 哲生
- (香川県) ⑲ 宮武 好美
- (熊本県) ⑳ 柏原 正雄
- (長野県) ㉑ 清水 隆
- ㉒ 太田 千尋

◎六・七年度分 一三名

- (千葉県) ① 松家 昇
- (兵庫県) ② 近本 昌博
- ※前回報告の年度会費二口(八・九年度、六・七年度)納入者福岡県③香川次郎は、香月次郎の誤りでした。訂正してお詫びいたします。
- (茨城県) ④ 萩原 耕
- (岩手県) ⑤ 川村 和夫
- (静岡県) ⑥ 樋口 英世